編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
３０－７２	小学校	道　徳	道　徳	４　年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
１１６　日文	道徳　４０６ ４０７	小学道徳　生きる力　４ 小学道徳　生きる力　４　道徳ノート		

１. 編修の基本方針

― 道徳科の時間を通して，子どもたちに「よりよく生きる力」を育みたい ―

みずから心をひらき，考え，そして行動する
子どもたちの真の生きる力を育みたい
そのことが，ともによりよく生きていく喜びにつながるように……
私たちはこの教科書が，そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は，教育基本法第２条に示す教育の目標を実現するため，次のような基本方針で編修しました。

基本方針 1　みずから考えたくなる！
児童の主体的な学びをサポートします

基本方針 2　授業に躍動感を！
豊かな対話と学び合いのある
道徳科の時間にします

基本方針 3　社会に根ざした道徳教育を！
いま・これからの社会的課題にしっかり
対応し，深い学びを提供します

基本方針 1 みずから考えたくなる！　児童の主体的な学びをサポートします

1 読み取りやすく興味を引く教材・紙面

(1) 感動・共感を呼ぶ教材の選定

物語からドキュメンタリーまで多様な教材をそろえています。感動とともに児童の経験を踏まえた思考を引き出すようにしました。

（p.74 ～ 75）

(2) 見やすく，親しみやすい大きな紙面

大きな判型（ＡＢ判）を採用し，大きなイラストや写真で，児童の興味・関心を惹きつけるようにしました。

（p.126 ～ 127）

(3) 学習をガイドするキャラクター

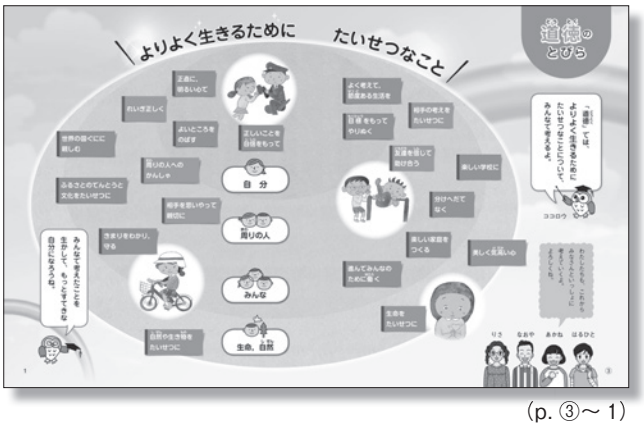
親しみやすいキャラクターが活躍して，児童にとって内容を身近に捉えやすくなるよう工夫しました。

りさ　なおや　あかね　はるひと　ココロウ

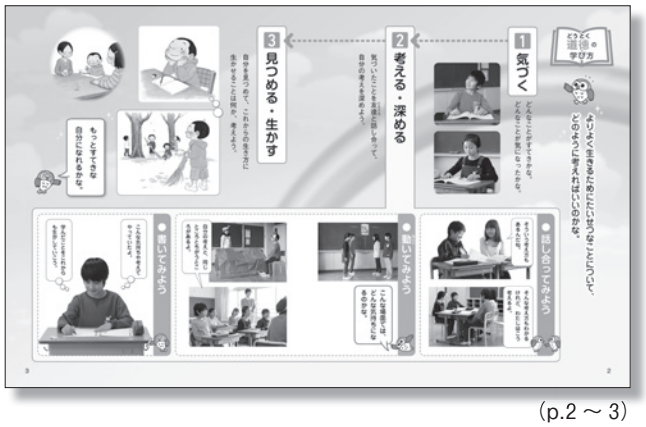
2 学びに見通しの持てる構成　－学習の意義や全体を見通した例示－

(1) ていねいでわかりやすいオリエンテーションページ

巻頭にオリエンテーションのページを設け，道徳科の意義や学び方などを，児童の発達の段階に応じてわかりやすく示しました。



（p. ③～ 1）

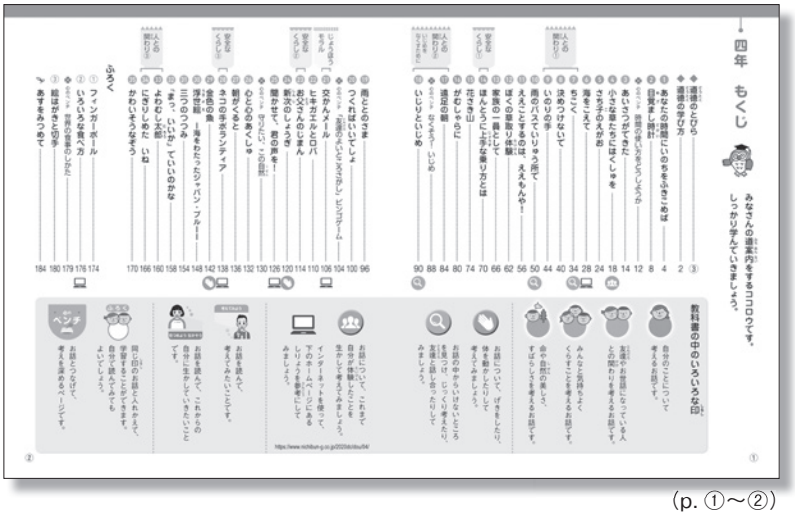


（p.2 ～ 3）

(2) 教材配列と見やすいもくじ

重要なテーマである「いじめの防止」について複数の教材を１つのまとまり（ユニット）とすることで，学級の状況に応じて，学習を集中的に展開できるようにしました。

また，もくじでは，「安全」「情報モラル」などのテーマについても教材名の上の欄にそれぞれ提示し，１年間の学習の全体像，系統性が一目でわかるよう工夫しました。



（p. ①～②）

基本方針 2 授業に躍動感を！　豊かな対話と学び合いのある道徳科の時間にします

1 考えを引き出し，議論を活発にするために　－豊かな思考や議論を促す紙面要素－

児童が取り組みやすく，また教師が指導・評価しやすくなるように，紙面要素を適切に配置しました。児童が教材内容を素早く理解できるので，授業の中に思考や議論のための時間を作りやすくなります。

❺考えてみよう
教材のねらいに迫る発問例を児童が自発的に問いかける形で示しました。

❻見つめよう　生かそう
学習を通して考えたこと，わかったことを確かめたり，深く心に刻んだり，未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。

（p.50 ～ 53）

❶主題名
ねらいに対応した「主題」を端的に表しました。

❷導入の発問例
本時の導入に役立つ発問例を示しました。

❸あらすじ
児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

❹主な登場人物
教材に登場する主な登場人物を示して，児童が親しみを持てるようにしました。

2 学習の手引き　－主体的，対話的で深い学び－

「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材，および「多様な実践活動を生かす学習」に対応した教材の後ろには，児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」を付けています。これにより，主体的，対話的で深い学びが展開できると共に，特別活動等における多様な実践活動を生かした充実した学習ができるように工夫しました。

問題解決的な学習	ちこく 雨のバスていりゅう所で いじりといじめ	p.34～39 p.50～55 p.90～95
体験的な学習	新次のしょうぎ 金色の魚	p.120～125 p.142～147
多様な実践活動を生かす学習	小さな草たちにはくしゅを	p.18～23

（p.22 ～ 23）

3 学習や指導を充実させるために　－多面的，多角的な見方・考え方で，広げ，深め，心に刻む－

(1) コラム（心のベンチ）

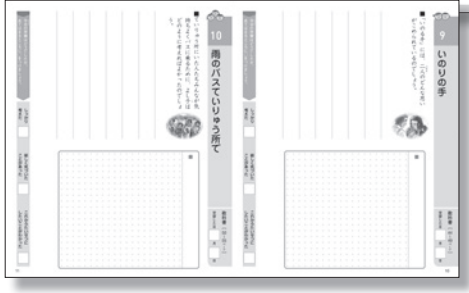
コラム「心のベンチ」を適宜配置し，道徳的価値について，多面的，多角的な見方，考え方によってより広く深く，考えられるようにしました。道徳科以外の教育活動とも関連付けています。

(2) 道徳ノート（別冊）

別冊の「道徳ノート」を付けました。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき，指導や評価の参考にもなります。また，児童自らの成長の記録となり，保護者との連携も図れるようにしました。

新たに自由に書き込める欄を設けたので，児童が活用しやすくなりました。地域題材や学級状況に応じた指導にも対応できます。

（p.130 ～ 131）



（ノート p.10 ～ 11）

基本方針 3 社会に根ざした道徳教育を！

いま・これからの社会的課題にしっかり対応し，深い学びを提供します

1 現代的・社会的課題への対応

下記の現代的・社会的な課題を重視して編修しました。

（　　）はユニット

重点化した課題への対応

重点課題	道徳科の内容項目例	教材例
いじめの防止	善悪の判断，自律，自由と責任 友情，信頼　公正，公平，社会主義 相互理解，寛容	・ちこく ・決めつけないで ・いのりの手 ・遠足の朝 ・いじりといじめ ・よわむし太郎 ・にぎりしめた　いね
安全の確保（防災，防犯，交通）	節度・節制　勤労，公共の精神 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	・ほんとうに上手な乗り方とは ・お父さんのじまん ・ネコの手ボランティア
情報モラル	よりよい学校生活，集団生活の充実	・交かんメール
社会の持続可能な発展	国際理解，国際親善　自然愛護	・海をこえて ・聞かせて，君の声を！ ・いろいろな食べ方

その他の現代的・社会的な課題への対応

①「人権・福祉」について考える教材	・決めつけないで	・心と心のあくしゅ
②「食育・健康」について考える教材	・目覚まし時計	・いろいろな食べ方
③「法教育」について考える教材	・雨ととのさま	・「まっ，いいか」でいいのかな
④「キャリア教育」について考える教材	・いのりの手	・朝がくると

2 特別支援教育への配慮 －すべての児童が等しく学べるように配慮

すべての児童が等しく学べるように，カラーバリアフリー，ユニバーサルデザインなどを採用し，特別支援教育の観点から次のように配慮しました。

1）文字の大きさと書体，罫線や囲みの使い方，色使いなど，レイアウトを工夫し，判読しやすくしました。

2）当該学年以上の漢字には，教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

3 保護者への配慮 －家庭，地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか，またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えるとともに，道徳ノートの活用により，学校・家庭・地域の連携を図る手立てを提供しています。

4 系統性への配慮 －保・幼，小，中の連携

発達の段階を考慮し，保･幼，小連携（低学年）や，小，中連携（高学年）についても，教材の選定や表現方法，レイアウトにおいて工夫を加えました。

2. 対照表

教育基本法第２条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について，各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第２条 （教育の目標）	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第１号 幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	豊かな情操と道徳心を培うため，道徳の授業がより有意義になるよう，意義と学び方を紹介しました。	p.③～3
	正直，誠実 24 新次のしょうぎ	不正をして勝ってもうれしくない，むしろ悲しく後ろめたい気持ちになることに気づき，正直に明るい心で生活しようとする心情を育てようとしました。	p.120～125
	節度，節制 2 目ざまし時計 ほか 14，29	自分で決めたことを守らないと嫌な思いになることに気づき，自分でできることは自分でやり，節度ある生活をしようとする態度を養おうとしました。	p.8～11 ほか
	希望と勇気，努力と強い意志 16 がむしゃらに	物事に精一杯打ち込むことのすばらしさと，それができないことの情けなさに気づき，強い意志をもってやるべきことを粘り強くやり抜こうとする心情を育てようとしました。	p.80～83
	感動，畏敬の念 15 花さき山	人の心の中にはすばらしいものや美しいものがあるということに気づき，それに感動し，大切にしようとする心情を膨らませようとしました。	p.74～79
第２号 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断，自律，自由と責任 5 さち子のえがお ほか 17，33	自信をもって正しいと判断したことは行い，正しくないと判断したことは行わないことのすがすがしさに気づき，よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てようとしました。	p.24～27 ほか
	個性の伸長 20 つくればいいでしょ	自分さがしをする「わたし」の思ったことや行動について考えることを通して，人は成長できるのだということに気づき，自分を伸ばしていこうとする態度を養おうとしました。	p.100～103
	相互理解，寛容 7 ちこく ほか 34	相手の立場や状況を理解することの大切さについて考えることを通して，互いを理解し尊重し合おうとする態度を養おうとしました。	p.34～39 ほか
	勤労，公共の精神 12 ぼくの草取り体験 ほか 28	「ぼく」の草取りに取り組む気持ちの変化から働く意味を考え，進んでみんなのために働こうとする態度を養おうとしました。	p.62～65 ほか
	家族愛，家庭生活の充実 13 家族の一員として	「ぼく」の思いの変化を通して，家族の一員として，役割を果たすことのうれしさに気づき，積極的に家族と関わり楽しい家庭生活を築いていこうとする意欲を高めようとしました。	p.66～69
第３号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。	親切，思いやり 26 心と心のあく手 ほか 11，31	見守ることも親切のひとつであることに気づき，思いやりの心をもって親切にしようとする心情を育てようとしました。	p.132～135 ほか
	感謝 27 朝がくると	自分の生活を支えてくれる存在に気づき，そのことが当たり前だと思うのではなく，感謝の心をもって生活していこうとする態度を養おうとしました。	p.136～137
	礼儀 3 あいさつができた ほか ①	挨拶することが自分の気持ちをうきうきとさせることに気づき，進んで誰にでも挨拶をしようとする態度を養おうとしました。	p.14～17 ほか
	友情，信頼 9 いのりの手 ほか ③	ハンスとデューラーの姿から，友情の美しさを感じ，友達と互いに信頼し，助け合おうとする心情を育てようとしました。	p.44～49 ほか
	規則の尊重 10 雨のバスていりゅう所で ほか 19，32	みんなが気持ちよく暮らすためには，約束や社会のきまりが必要であるという意義を理解し，それを守って行動しようとする態度を養おうとしました。	p.50～55 ほか
	公正，公平，社会正義 8 決めつけないで ほか 18	「わたし」の気持ちの変化を考えることを通して，誰に対しても偏見をもつことなく，公正，公平な態度で接しようとする態度を養おうとしました。	p.40～43 ほか
	よりよい学校生活，集団生活の充実 21 交かんメール	学級のよさを見つけることの喜びを感じて，自分たちの学級や学校のよさをあらためて考え，みんなで協力して楽しい学級や学校を作ろうとする態度を養おうとしました。	p.106～109
第４号 生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 22 ヒキガエルとロバ ほか 1，35	ヒキガエルをいじめることを楽しんでいたアドルフたちの反省を通して，すべての生き物の命を大切にしようとする態度を養おうとしました。	p.110～113 ほか
	自然愛護 4 小さな草たちにはく手を ほか 25	厳しい環境の中でもけなげに生きている小さな草たちの強さや美しさを感じたりょうたを通して，自然に親しみ，大切にしようとする心情を育てようとしました。	p.18～23 ほか
第５号 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 23 お父さんのじまん ほか 30	自分の郷土を見つめ，伝統と文化のすばらしさやそれを守り受け継いできた人々の努力に気づき，郷土に愛着を感じる心情を育てようとしました。	p.114～119 ほか
	国際理解，国際親善 6 海をこえて ほか ②	母国のガーデニングと日本の盆栽，それぞれのよさに気づいたアリスさんの思いを考えることを通して，他国の人々や文化に興味をもち，互いのよさを理解して大切にしようとする心情を育てようとしました。	p.28～33 ほか

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
３０－７２	小学校	道　徳	道　徳	４　年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
１１６　日文	道徳　４０６ ４０７	小学道徳　生きる力　４ 小学道徳　生きる力　４　道徳ノート		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「よりよく生きる力」を育むために

一人ひとりの児童たちと，そこに寄り添う教師とが作り上げていく教科「特別の教科　道徳」。その実践を通して「よりよく生きる力」を育むことをサポートする教科書として，「学習指導要領」の主旨を踏まえ，特に次の点に意を用いて編修しました。

特色 1　授業の流れが見える　－質の高い授業を保証する工夫として－

1 発問例によって授業の流れが見える　－質の高い授業を保証する工夫として－

教材に応じて，授業の進行に沿った３つの発問の例を全教材に示しています。これらの発問例によって，教師にも児童にも授業の流れが見え，見通しをもって豊かな学習活動をおこなうことができます。

■考えてみよう
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例です。

■見つめよう　生かそう
学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、活かしていくための発問例です。

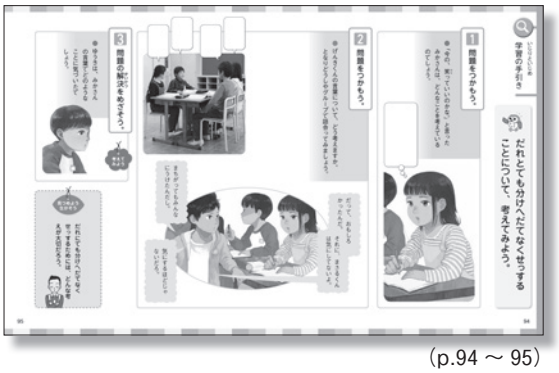
■導入の発問例
教材に入り込むきっかけとなる発問例です。

（p.90 ～ 93）

2 「学習の手引き」によって授業の流れが見える

指導方法を工夫することで，主体的・対話的な学習による「深い学び」が実現すると考えられる教材には，「学習の手引き」のページを用意しています。

このページを参考にしていただくことで，質の高い，多様な学習方法の具体例がわかり，問題解決的な学習，体験的な学習，さらに特別活動等を生かした学習に児童が主体的に取り組むことができるとともに，対話を通じた多様な見方，考え方にふれるなどして，深い学びを実現することができます。



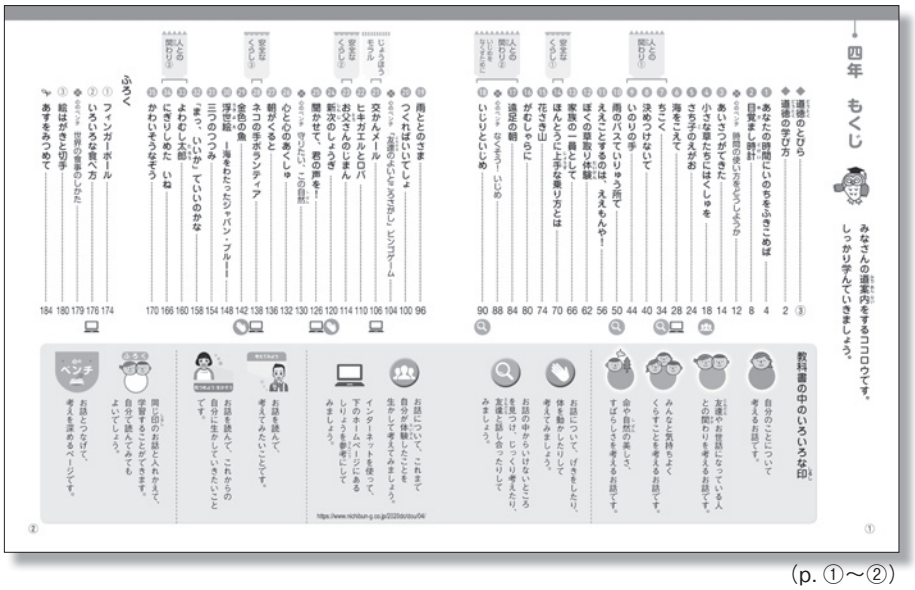
（p.94 ～ 95）

特色2 いじめをなくす　―いじめを「しない」「させない」「見過ごさない」を柱に―

1 関連教材やコラムとのユニット構成　―毎学期に配置―

「いじめの防止」は，重要なテーマとして，複数教材や関連するコラムをユニットとしてまとめて配列しています。また，毎学期にユニットを１つずつ配置して，重点的に扱えるようにしています。

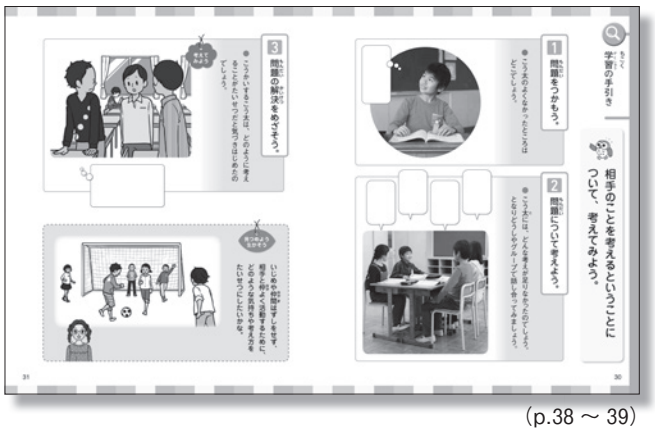
ユニットには，いじめを直接的に扱った教材だけでなく，自己有用感や他者理解など，「いじめ」の克服につながる教材を組み合わせ，知的理解を補強するコラムとも関連させつつ，集中的に取り組めるようにしています。くり返し考え，対話を深めることで，児童自身にいじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけさせようとしました。



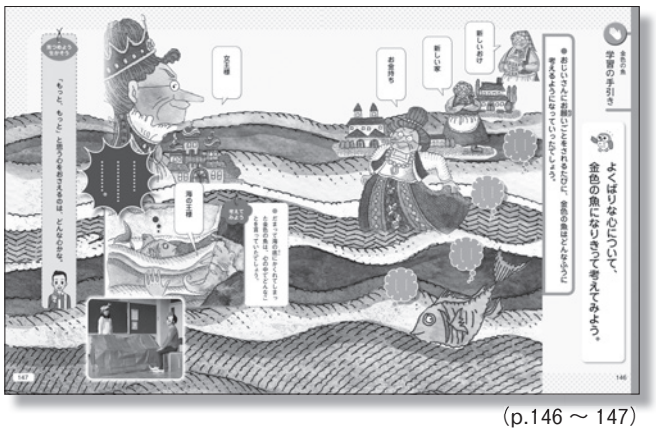
（p. ①～②）

2 多様な学習活動を通して　―多様な学び方を通してより確かな理解を―

「学習の手引き」で，問題解決的な学習の手法（下図左）や，役割演技を用いた体験的な学習の手法（下図右），多様な実践活動を生かした学習の手法を提案しています。このような学習活動の工夫から，「いじめの防止」の，より確かで深い理解につながることをめざしています。



（p.38 ～ 39）



（p.146 ～ 147）

3 コラムを用いて　―多面的・多角的に考える―

教材に関連させて配置したコラム「心のベンチ」を手がかりにして，児童は「いじめの防止」について多面的・多角的に考えることができます。

（p.88 ～ 89）

特色 3 心の成長を記録する　－学びを心に刻み，自分の成長が実感できる－

1 「道徳ノート」のねらいと効果　－各学年に１冊，各教材に１ページ－

「よりよく生きる力」を育むために，児童が「自分の成長」を実感できることを意図して，「道徳ノート」を付けました。このノートの活用によって，児童自身が自らを振り返り，自身の変容や成長を確認することができます。

また，１教材１ページで，指導の実践に即した構成とし，自由に書き込める欄を設けるなど，使いやすさに意を用いました。

「道徳ノート」を活用することで，次のような効果が期待できます。

◆児童にとって

◇自分自身の成長の様子を記録し，振り返ることができます。

◇児童が表現する場を保証することで，言語活動の充実が図れます。

◇自由書き込み欄

→児童の思いを各々の表現方法や分量で書き表せます。

→友達の意見を書き込むことにより，多面的・多角的な見方や考え方を育成することができます。

→記録だけでなく，メモとして議論に備えることができます。

◇教科書に即した共通のノートを使うことで，「考え，議論する」土台を学級で共有できます。

◆教師にとって

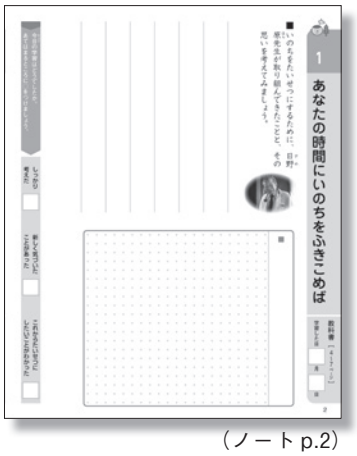
◇児童の道徳性の成長の様子が把握できます。

◇１年間を通して学習状況を継続的に把握できます。→中長期的な大くくりの「評価」にも活用することができます。

◆保護者にとって

◇保護者記入欄の活用により，児童の成長へ関わることができます。

◇家庭と学校間の連携を円滑にします。



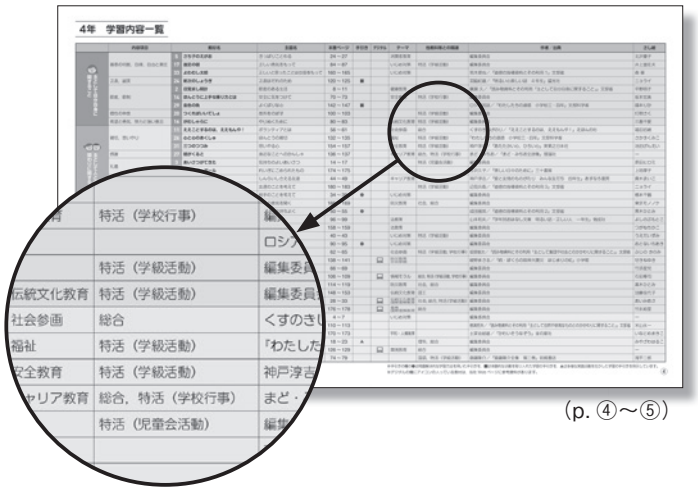
（ノート p.2）

（ノート p.40）

特色 4 その他に意を用いた点や特色

1 各教科等との関連への配慮

他教科や特別活動等との関連を巻末一覧表に明示しました。これにより，カリキュラムマネジメントの充実化に活用することができます。

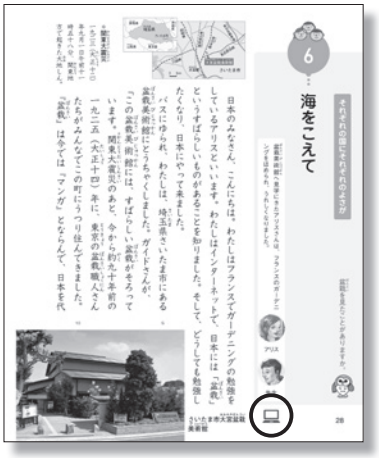


（p. ④～⑤）

2 デジタルコンテンツ

－より効果的な授業をするための配慮－

◯のアイコンが配置された教材には，授業の導入や展開で活用できる動画資料や，関連画像などを，ホームページ上にデジタル教材として準備しました。必要に応じて活用することで，児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。



（p.28）

〔本教科書の特色表〕

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	・教育基本法第２条の教育の目標を達成するため，特に次の３点を柱に編修しています。①みずから考えたくなる！，②授業に躍動感を！，③社会に根ざした道徳教育を！
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし，扱うべき内容項目はすべて扱い，重点事項や配慮事項を重視しています。
	公正性		・教材の選定，記述に当たっては，内容が一面的，断定的な見解に偏っていないか，広く受容されているかを十分吟味・検証しています。
	正確性		・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮		・児童の発達の段階を考慮した内容とし，１年間や６年間を通した系統性に配慮しました。また，「保・幼，小，中」の連携にも配慮しました。
	配列・分量		・オリエンテーション，本編教材，付録で構成し，適宜関連コラムを配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		・オリエンテーションのページに道徳学習の意義や授業の流れをわかりやすく示しているので，学習意欲と主体的な学習態度の育成につながります。 ・児童に感動と共感を与え，興味・関心を高めるような多様な教材を用いました。 ・親しみやすいキャラクターの言葉が児童の学ぶ意識を高めます。
	多様な学習の実現（アクティブラーニング）		・オリエンテーションのページや自我関与を中心とした教材のほか，問題解決的な学習，体験的な学習，多様な実践活動を生かした学習の教材を配置しました。 ・児童が多様な学習に対応できるよう，「学習の手引き」を問題解決的な学習，体験的な学習，多様な実践活動を生かした学習のページに例示しました。
	重点課題	現代的・社会的課題への対応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に,「いじめの防止」「安全の確保（防災･防犯･交通安全）」「情報モラル」「社会の持続的発展」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては，全学年で重要項目として扱い，各学年毎学期に関連教材をユニット化して配置しました。
		伝統文化の尊重と国際理解	・伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに他国の文化にも興味・関心を持たせ，国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。
	その他の現代的社会的な課題		・食育，法教育，キャリア教育などの社会的課題についても取り扱っています。
その他	家庭学習への配慮		・「道徳ノート」（別冊）は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝え，学校，家庭，地域の連携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		・児童にとって特に身近に感じられる，地域の特色を生かした地域教材の活用，開発にも配慮しました。
	他教科・活動との関連		・道徳教育の要としての特質に鑑み，各教材と道徳的内容で関連する他教科・活動を巻末に明示し，各教科等と関連付けた効果的な指導ができるようにしました。 ・これにより，カリキュラムマネジメントの充実化に役立つようにしました。
	特別支援教育への配慮		・すべての児童が等しく学べるよう，カラーバリアフリー，ユニバーサルデザインなどを採用し，特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	デジタル教材の活用		・別途デジタル教材を提供する体制を整え，学習効果をより高められるよう配慮しました。
	判型		・ＡＢ判を採用し，写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。
	文字，印刷，製本		・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・書体は，児童に読みやすいように開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし，表紙はコート紙で美感を考慮する予定です。 ・植物油を用いて印刷し，堅牢なあじろ綴じ製本で開きやすくしました。

2. 対照表

第４学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目とキーワード		配当時数	配当学期	
番号	ページ	教材名	主題名					
1	4〜7	あなたの時間にいのちをふきこめば	いのちは「時間」	D	生命の尊さ	1	一学期12時間	前期16時間
2	8〜11	目覚まし時計	節度のある生活	A	節度，節制	1		
3	14〜17	あいさつができた	気持ちのよいあいさつ	B	礼儀	1		
4	18〜23	小さな草たちにはくしゅを	身近な自然とのふれあい	D	自然愛護	1		
5	24〜27	さち子のえがお	きっぱりことわる	A	善悪の判断，自律，自由と責任	1		
6	28〜33	海をこえて	それぞれの国にそれぞれのよさが	C	国際理解，国際親善	1		
7	34〜39	ちこく	相手のことを考えて	B	相互理解，寛容	1		
8	40〜43	決めつけないで	公平なたいどとは	C	公正，公平，社会正義	1		
9	44〜49	いのりの手	しんらいし合える友達	B	友情，信頼	1		
10	50〜55	雨のバスていりゅう所で	みんなが気持ちよく	C	規則の尊重	1		
11	56〜61	ええことするのは，ええもんや！	ボランティアとは	B	親切，思いやり	1		
12	62〜65	ぼくの草取り体験	みんなのために働く	C	勤労，公共の精神	1		
13	66〜69	家族の一員として	自分のやくわり	C	家族愛，家庭生活の充実	1	二学期14時間	
14	70〜73	ほんとうに上手な乗り方とは	安全に気をつけて	A	節度，節制	1		
15	74〜79	花さき山	よさの花をさかせよう	D	感動，畏敬の念	1		
16	80〜83	がむしゃらに	やりぬくために	A	希望と勇気，努力と強い意志	1		
17	84〜87	遠足の朝	正しい勇気をもって	A	善悪の判断，自律，自由と責任	1		後期19時間
18	90〜95	いじりといじめ	分けへだてなく	C	公正，公平，社会正義	1		
19	96〜99	雨ととのさま	きまりを守る	C	規則の尊重	1		
20	100〜103	つくればいいでしょ	長所をのばす	A	個性の伸長	1		
21	106〜109	交かんメール	わたしたちの学級や学校	C	よりよい学校生活，集団生活の充実	1		
22	110〜113	ヒキガエルとロバ	すべての命をたいせつに	D	生命の尊さ	1		
23	114〜119	お父さんのじまん	国やきょうどを愛する	C	伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	1		
24	120〜125	新次のしょうぎ	正直はだれのため	A	正直，誠実	1		
25	126〜129	聞かせて，君の声を！	自然の命を守る	D	自然愛護	1		
26	132〜135	心と心のあくしゅ	ほんとうの親切	B	親切，思いやり	1		
27	136〜137	朝がくると	身近なことへのかんしゃ	B	感謝	1	三学期9時間	
28	138〜141	ネコの手ボランティア	ほうしの気持ち	C	勤労，公共の精神	1		
29	142〜147	金色の魚	よくばりな心	A	節度，節制	1		
30	148〜153	浮世絵−海をわたったジャパン・ブルー−	たいせつにしたい日本の伝統と文化	C	伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	1		
31	154〜157	三つのつつみ	思いやる心	B	親切，思いやり	1		
32	158〜159	「まっ，いいか」でいいのかな	きまりとは	C	規則の尊重	1		
33	160〜165	よわむし太郎	正しいと思ったことは自信をもって	A	善悪の判断，自律，自由と責任	1		
34	166〜169	にぎりしめた　いね	相手の意見を聞く	B	相互理解，寛容	1		
35	170〜173	かわいそうなぞう	生命のそんげん	D	生命の尊さ	1		
①	174〜175	フィンガーボール	れいぎにこめられたもの	B	礼儀	−	−	−
②	176〜178	いろいろな食べ方	外国とのちがいを受け入れて	C	国際理解，国際親善	−	−	−
③	180〜183	絵はがきと切手	友達のことを考えて	B	友情，信頼	−	−	−
					計	35		
					ふろく	3		

［備考］
・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第３章第２の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関すること」，Ｂは「主として人との関わりに関すること」，Ｃは「主として集団や社会との関わりに関すること」，Ｄは「主として生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること」を示す。
・番号①②③は補充教材としての「ふろく」を表しており，本文教材との代替性，補充性を目的に使用するため，配当時数には含めていない。